
















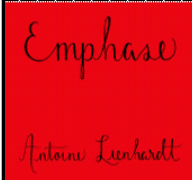





Antoine Lienhardt アントワヌ・リエナルト



一度は途切れた家族のワイン造りの歴史を、2011年にアントワヌ・リエナルトは再興した。各地のワイン生産者の元で経験を重ねる中で自問自答し、当初のワイン造りからはワインのスタイルは大きく変わってきた。2019年にバイオリジック栽培の認証を取得、馬による耕作、全房醗酵の導入。瓶詰まで醸造添加物のないワイン造りへと切り替えたりと、現在も発展の途上と言えるだろう。祖父から受け継いだ5haの畑を、自身もまた古き良き農家の知恵とともに未来へと託すことを考え、ヴァン・ナチュールを造るという選択に至ったのだった。

	○Bourgogne Aligoté ブルゴーニュ・アリゴテ			備考	コンブランシアン村の複数の畑のブレンド。小石の多い粘土石灰土壌からは、フレッシュでミネラリー、透明感を白ワインに与える。
	畑	品種：アリゴテ100% 植樹：1940～1990年代植樹 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
	○Bourgogne Aligoté - 35 mois d'élevage ブルゴーニュ・アリゴテ 35ヵ月熟成			備考	コンブランシアン村の複数の畑のブレンド。小石の多い粘土石灰土壌からは、フレッシュでミネラリー、透明感を白ワインに与える。
	畑	品種：アリゴテ100% 植樹：1940～1990年代植樹 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
	○Bourgogne Chardonnay ブルゴーニュ・シャルドネ			備考	コンブランシアン村の複数の畑のブレンド。小石の多い粘土石灰土壌からは、フレッシュでミネラリー、透明感を白ワインに与える。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1940～1990年代植樹 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
	○Meursault - Sous la velle ムルソー スー・ラ・ヴェル			備考	ムルソー村のすぐ南にあるスー・ラ・ヴェルの区画。ブドウ供給元の栽培家は2012年からバイオリジック栽培へと転換した。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1980年代 土壌：50cmの粘土層、石灰土壌	醸造		
	●VdF - Héliô de Rose エロー・ド・ローズ			備考	Antoineの妹、Héloïse作のロゼワイン。プレス機の中で一晩マセレーションをさせた軽快なロゼワイン。Hello! de Rose!
	畑	品種：ピノ・ノワール100%	醸造		
	●VdF - Grand Crew グラン・クルー			備考	ローヌ地方、ヴォークルーズ県の友人からの買いブドウのグルナッシュとシラー、そして自身のピノ・ノワールをブレンドし"Grand Crew=素晴らしい仲間"と名付けた。
	畑	品種：グルナッシュ、シラー、ピノ・ノワール	醸造		

	●Coteaux Bourguignon - Gamayoptère コトー・ブルギニョン ガメオプテール			備考	フィサンの友人（Pierrot）から、コート・ド・ニュイには珍しいガメを購入。選果と収穫はアントワーン達が行う。GamayoptèreとはGamayとcoléoptère(甲虫)を組み合わせた名前で、甲虫はこの畑の“クリーン”な栽培工程の象徴である。エチケットの甲虫のデザインは毎年変更。
	畑	品種：ガメ 土壌：粘土・石灰質	醸造		
	●Bourgogne Pinot Noir ブルゴーニュ・ピノ・ノワール			備考	ピノ・ノワールの古樹、2つの畑のブレンド。畑はコンブランシアンの方の下で果実が良く熟す。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年代 位置：丘の下の方 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
	●Bourgogne Pinot Noir - Vignes Blanches ブルゴーニュ・ピノ・ノワール ヴィーニュ・ブランシュ			備考	ピノ・ノワールの古樹、2つの畑のブレンド。畑はコンブランシアンの方の下で果実が良く熟す。セクション・マサルで植樹した若木。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：2010年代 位置：丘の下の方 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
	●Côte de Nuits - Villages - Les Plantes Aux Bois コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ レ・プラント・オ・ボワ			備考	コンブランシアン村の緩やかな斜面の一番上の区画。1.4haのドメーヌで一番大きな畑で樹齢も高い。ワインは還元的なキャラクターになりがちで、タバコやスパイスが香る。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1950年代 位置：北東～南東 土壌：粘土の多い石灰土壌	醸造		
	●Côte de Nuits-Villages - Les Essards コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ レ・ゼサル			備考	コンブランシアン村の緩やかな斜面の一番上の区画。レ・プラント・オ・ボワに隣接するが、テロワールの違いから赤い果実味の風味豊かな、エレガントなワインが生まれる。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年代 位置：西向き、東向き 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
	●Côte de Nuits Villages - Aux Vignottes コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ オ・ヴィニョット			備考	クロ・ド・ラ・マレシャルと国道を挟んで隣接する畑。香り高い。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1960年代 位置： 土壌：粘土の多い石灰岩土壌	醸造		
	●Savigny-lès-Beaune サヴィニ＝レ＝ボーヌ			備考	バイオロジック栽培（認証取得）をしている栽培家からのブドウを購入。
	畑	品種：ピノ・ノワール100%	醸造		

	● Côte de Nuits-Villages - Emphase コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ アンファーズ			備考	ドメーヌの所有するコンブランシアン村の7つの樹齢の高いブドウのブレンド。粘土、石の多い土壌、砂質土壌、丘の斜面、平地。これらすべてがワインに偉大な複雑性を与える、アントワヌの自信作。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1935～1950年頃 位置：斜面、平地など 土壌：粘土質、砂質	醸造		
	● Nuits-Saint-Georges Rouge ニュイ＝サン＝ジョルジュ・ルーージュ			備考	ニュイ・サン・ジョルジュの3つの区画のブレンド。北の冷涼な気候と南の最適な日照という2つのテロワールの組み合わせにより、複雑でバランスのとれたワインが生まれる。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1940～1970年代 土壌：粘土・石灰質	醸造		
	● Gevrey-Chambertin Village ジュヴレ＝シャンベルタン・ヴィラージュ			備考	クロ・ド・ベースの畑の下にある、オン・レニアルの畑。2016年までバイオロジック栽培を行っている生産者だったが、それ以降は慣行農法の生産者が管理している畑からブドウを購入。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年	醸造		
	● Volnay Premier Cru - Santenots ヴォルネイ・ブルミエ・クリュ サントノ			備考	ヴォルネイ村の南に隣接するムルソー村に属するが、ヴォルネイ村から続くピノ・ノワールに適した土壌。ブドウの栽培はバイオロジック栽培のものを購入。
	畑	品種：ピノ・ノワール 位置：東～南東向き、 土壌：粘土・石灰質	醸造		
	● Clos Vougeot - Grand Cru クロ・ヴージュ グラン・クリュ			備考	2021年からバイオロジック栽培の畑からの買いブドウ。トーストの軽いストッキングジャー製の樽を使用。
	畑	品種：ピノ・ノワール100%	醸造		
	● Charmes Chambertin - Grand Cru シャルム・シャンベルタン グラン・クリュ			備考	トーストの軽いストッキングジャー製の樽を使用。
	畑	品種：ピノ・ノワール100%	醸造		